

# 新型コロナウイルス感染症について

令和2年3月2日

中国に端を発し、世界的に拡散した新型コロナウイルス感染症は、日本各地でも発症者が報告されております。感染経路もたどれなくなり、いつどこで感染するかわからない状況です。マスクや消毒用アルコールは入手できず、3月2日から学校も休校となり、トイレットペーパー不足のデマに惑わされ、漠然とした不安の中での生活になっています。このような時こそ、一人一人が冷静に、正しい情報をもとに行動することが必要です。

新型コロナウイルス感染症は、基本的にはインフルエンザと同様の風邪です。健常者では通常の風邪対策としての栄養補給と休養安静、隔離と対症療法で、1週間もすると快方に向かいます。注意が必要なのは、高齢者や持病があって抵抗力・免疫力の低下した方が感染すると、肺炎を起こし、時に重症になり命を落とす危険性がある点です。また、自覚症状がなくても感染している可能性があることや、診断キットが普及しておらず、治療薬やワクチンがないのもインフルエンザと違い厄介ではあります。

このため、一番大事なのは、感染を広げない事です。現在のところ、主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。狭い空間や人混み、マスクを外し不特定多数の人と共にする食事や運動、多くの人が触る手すりやドアノブには感染のリスクがあります。これには、マスクや咳エチケット、石鹸での十分な手洗いと消毒が有効です。まだ自分は大丈夫と過信せず、目に見えないウイルスをイメージして徹底して行いましょう。

次に大事なのは、パニックにならないことです。専門家の先生方も、ここ1~2週間、またはこの3月が、大事な時期と話しています。武漢の二の舞を日本で繰り返してはいけません。軽症者が医療機関に殺到すると、真の重症者への手当ができなくなる危険性が指摘されています。不要不急の外出は避けましょう。

一日も早く、この状況が収束し、安心して外出や登校、旅行などができる日が来ることを信じて、みんなであつらい、うつさないよう頑張りましょう。

当院では、新型コロナウイルス感染症対策(院内感染のリスク軽減)として、以下の取り組みを始めています。

- ・風邪外来の設置 (通常の診察と、感染症が疑われる方の診察を時間で分けます)
- ・休憩時間のほか、診療時間内の院内の換気と、手すりやドアノブの消毒
- ・待合室での雑誌やパンフレットの一時的な撤去
- ・可能な方への処方期間の延長や電話での処方箋準備

来院される方へのお願いがあります。

- ・新型コロナウイルス感染症が疑われる症状の方は、先に保健所にご連絡下さい。
- ・発熱、咳、倦怠感のある方は事前に風邪用の問診票にご記入いただき、専用の診察時間に来院して下さい。
- ・風邪症状で来院される際は、マスクなどをご使用のうえ(咳エチケット)来院してください。
- ・感染予防のため、体調のいい高齢の方は、早めの診察時間にお越しください。
- ・あらかじめ予約された胃カメラや健診で来院される際、体調が悪い時は無理をせず、検査を延期しましょう。

今後の状況によっては、上記内容に変更が生じる場合があります。その際はホームページや院内掲示でお知らせして参ります。